

## E13 東北中央自動車道が延伸します!!

平成31年3月23日（土）東根IC～東根北IC 開通

国土交通省が事業を進めて参りました東北中央自動車道のうち東根IC～東根北ICまでの延長4.3kmが開通することとなりましたので、お知らせします。

今回の開通によって、次の効果等が期待されます。

効果1：地域産業の活性化を支援

効果2：インバウンド観光振興を支援

効果3：地域救急医療活動を支援

### 1. 開通区間

東北中央自動車道 東根IC ～ 東根北IC （延長4.3Km）

※今回開通する区間は、無料となります。

※今回開通する区間は、自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、二輪車（125cc以下）は通行できません。

### 2. 開通日

平成31年 3月23日（土）

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします。

### 3. 地域活性化IC※

東根北IC 交差道路名 主要地方道寒河江村山線

※地域活性化ICは、高速道路の有効活用を目的として、地方公共団体が主体となって追加ICの整備を行うものです。

<記者発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙>

#### 【 問 合 せ 先 】

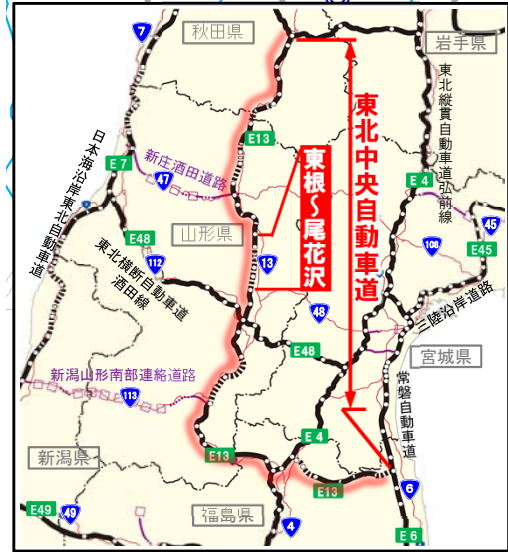
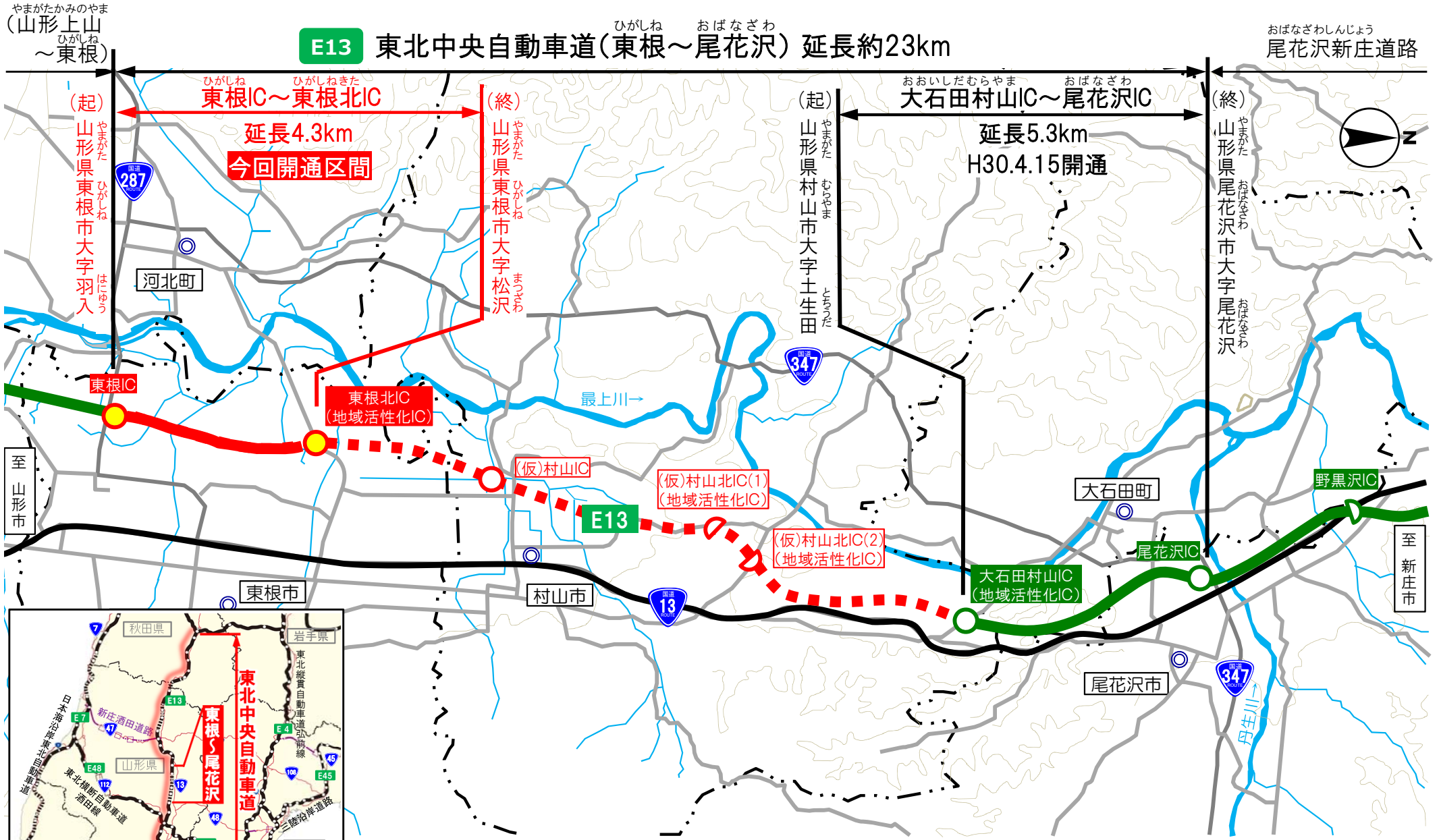
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

（道路担当）副所長 石井真吾 TEL 023-688-8421(代)（内線205）

# 東北中央自動車道(東根～尾花沢)

# 東根IC～東根北IC間

# 位置図



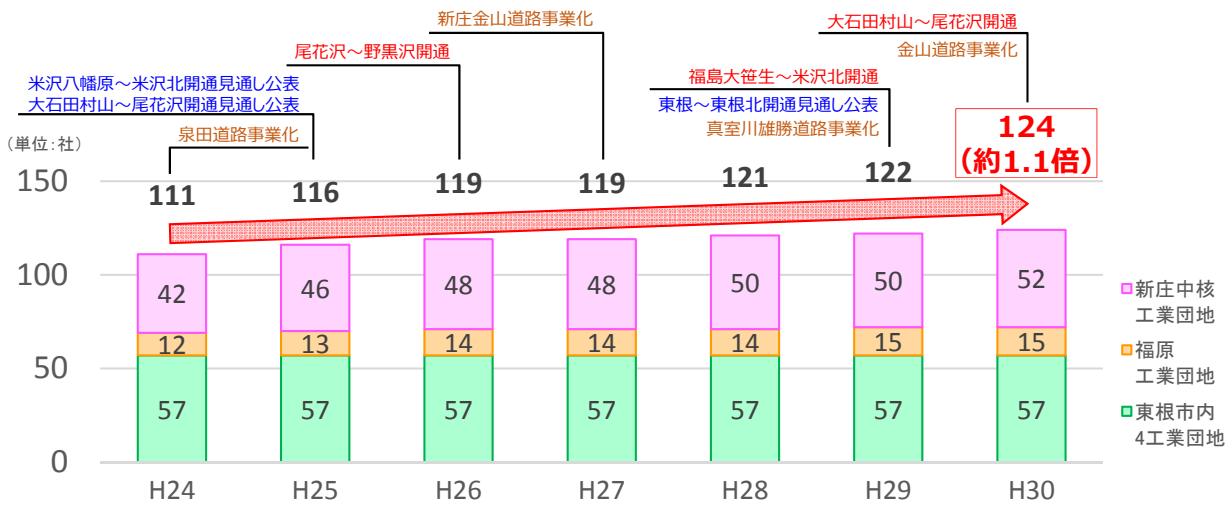
凡例	高規格幹線道路	地域高規格道路
供用中	——	——
事業中	----	----
調査中	□□	□□

凡例	
——	: 今回開通区間
----	: 事業中区間
——	: 開通済区間

# 地域産業の活性化を支援

- 東北中央道沿線地域では、道路ネットワーク整備の推進に合わせ、企業立地も増加傾向
- 原木材料が豊富な最上地域では、平成28年度に大手国産材製材会社が進出(新規雇用約60人)
- 今回開通区間を含め、関東方面への物流効率化や地域雇用の拡大が期待されるなど、地域産業の活性化を支援

## ■東北中央道沿線(東根市以北工業団地※)で進む企業立地



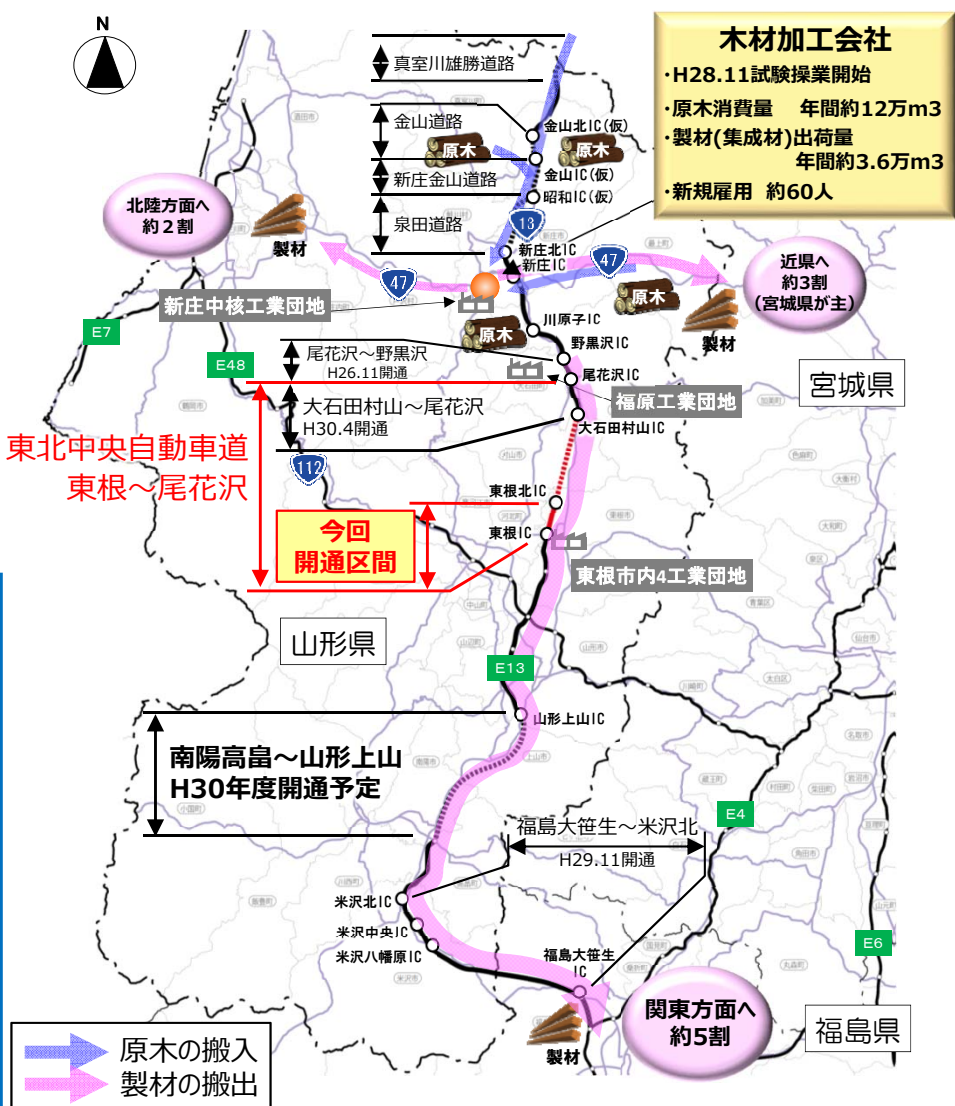
## ■東北中央道沿線(東根市以北)で増加する有効求人



## ■沿線立地企業の声

- 東北中央道等の高速道路の整備による東北各地へのアクセス性の良さなどを理由に、新庄市に新たに進出した。
- 原木の入荷は県内を中心としつつも、県外も含めた100km圏内を集材範囲と捉えており、製材の出荷は関東が中心となっている。今後東北中央道などの道路整備が進めば、物流の効率化による生産性向上も期待されるため、広域的な取引拡大にもつなげていきたい。(木材加工事業者 H31.2)

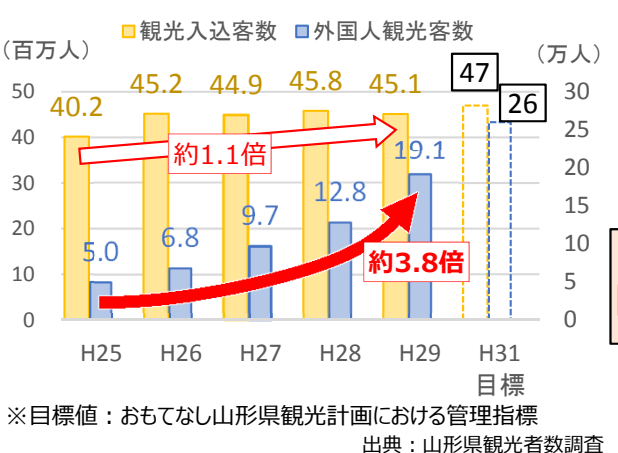
## ■東北中央道を利用した原木、製材の動き



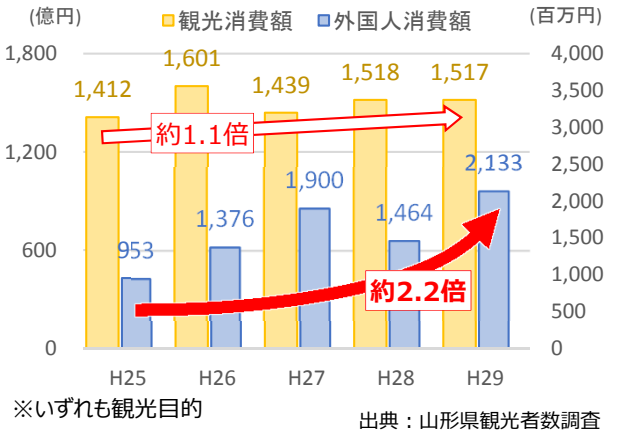


- 外国人観光客向けのPR活動や近隣県との連携強化等の活動により、外国人観光客やその観光消費額は著しい増加傾向
- 山形空港や仙台空港などを起点としたインバウンド観光の需要が増加するなか、東北中央道は県内の主要観光拠点を周遊するルートの一部を担う路線
- 東北中央道整備は、移動時間の短縮を図り、課題である滞在時間を確保することで、インバウンド観光振興を支援

## ■ 山形県の観光入込客数と外国人観光客数の推移と目標値\*



## ■ 山形県の観光消費額\*と外国人観光消費額\*の推移

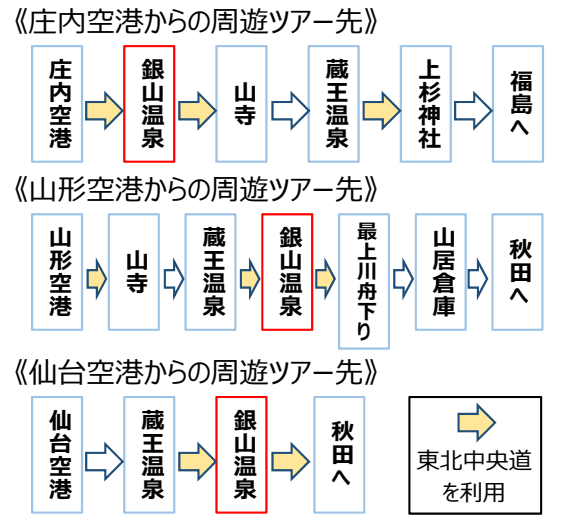


## ■ 外国人観光客の周遊ツアーの軸となる東北中央道



出典：チャーター便来訪者数 (2018山形空港概要、2018庄内空港概要)、クルーズ船 (酒田市HP)  
 仙台空港から山形県への来訪者数 (FF-Data(国土交通省))  
 ※仙台空港に国際定期便、国際チャーター便にて入国し、バス・電車等で山形県内に入る来訪者数

## ■ 空港を起点としたインバウンド観光



## ■ 旅行事業者の声

● 银山温泉は外国人にとって特に人気の観光地であり、東北中央道整備により時間短縮が図られれば、以前から要望の強かった银山温泉での滞在時間をより長く確保することや、新たな物販施設への立ち寄りも期待できる。(H31.2)

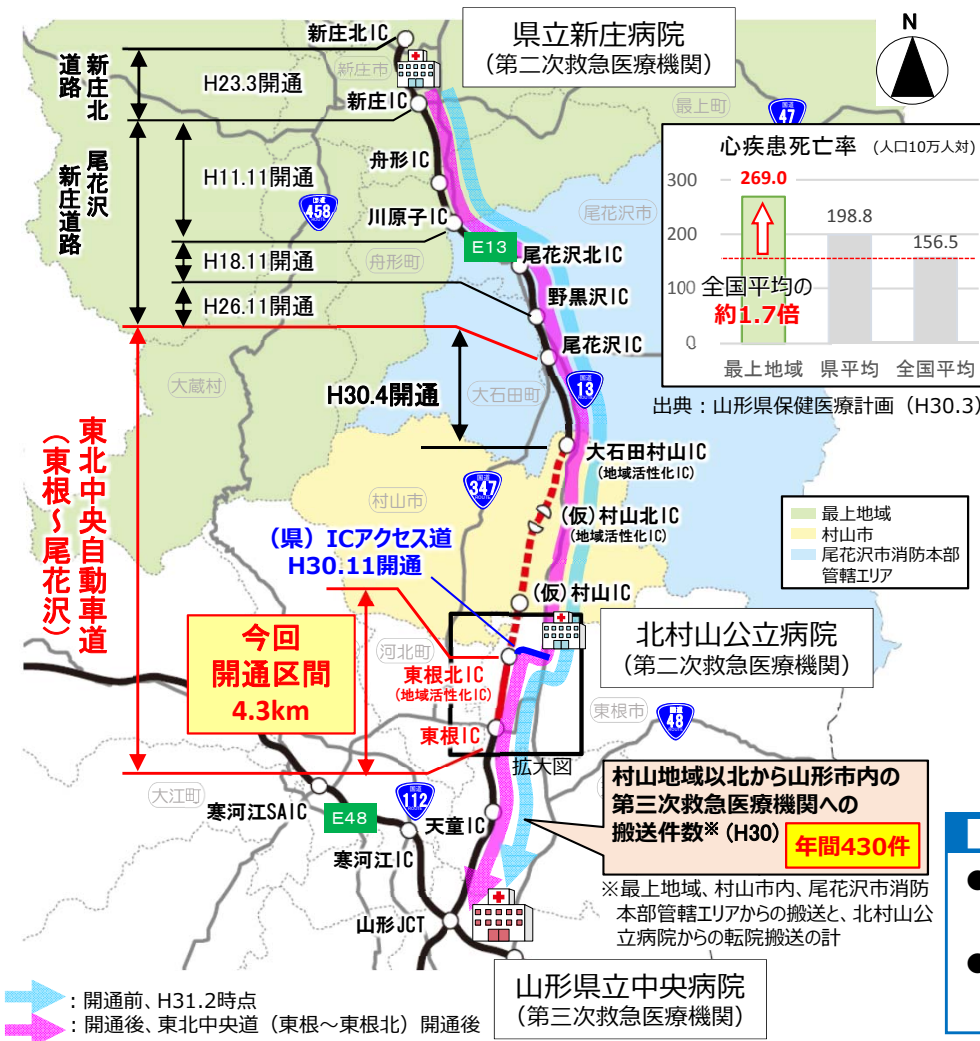
## ■ 沿線自治体(尾花沢市)の声

● 今後、さらなる外国人観光客の増加が見込まれることから、高速道路と隣接した道の駅尾花沢の受入環境の充実を図るとともに、パークアンドライドによる市内周遊観光を推進したい。(H31.2)

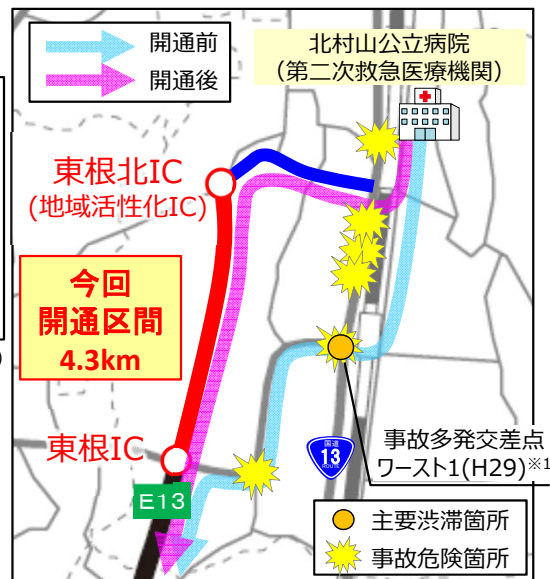
# 地域救急医療活動を支援

- 県内陸部(村山地域以北)の重篤患者の対応は、山形市内の医療機関との連携が必要であり、救急搬送件数は年間430件
- 心疾患死亡率が高い最上地域では、今回開通区間も含め20分以上の時間短縮が図られるなど、今後も生存率向上が期待
- さらに県による地域活性化IC(東根北IC)とアクセス道の整備により、主要渋滞箇所や事故危険箇所である交差点を回避し、県北地域の救急医療活動を支援

## ■ 県内陸部(村山地域以北)における重篤患者の搬送ルート



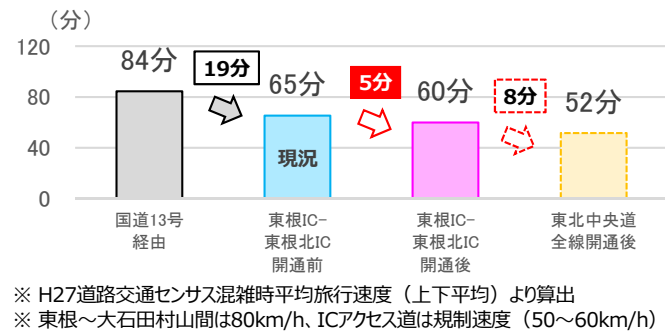
《拡大図》



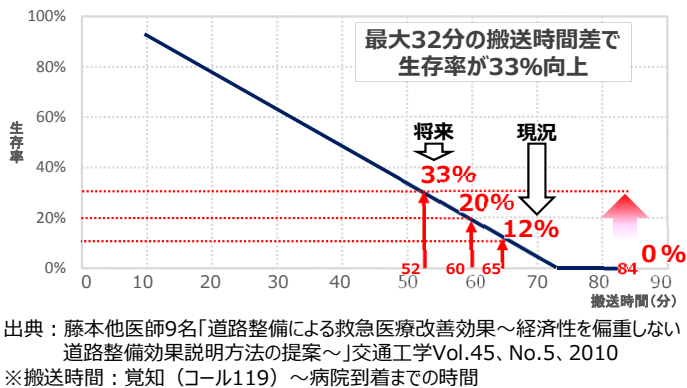
出典：事故危険区間マップ (山形県道路交通環境安全推進連絡会議 HP) 山形県渋滞対策推進協議会資料 (H25.1.24公表)

## ■ 改善される救急搬送時間

(県立新庄病院～山形県立中央病院)



## ■ 搬送時間と生存率の変化(急性心筋梗塞)



## ■ 最上広域市町村圏事務組合消防本部の声

- 一刻の猶予も許されない急性心筋梗塞等の救急搬送において、東北中央道の整備に伴う時間短縮による救命率向上が期待される。
- 本区間の整備は、時間短縮に加え国道13号の主要なブレーキポイントを回避できるため、ブレーキによる傷病者への負担を大幅に軽減できる。(H31.2)